

# 令和4年度海南市立南野上小学校 スクールプラン

## 海南市学校教育方針

- 確かな学力を育成する。
- 豊かな心や感性を育む。
- 健康でたくましい心と体を育てる。
- 社会の一員としての自覚を育てる。
- 教育における重要課題の解決に取り組む。
- 学校運営を改善・充実させ、教師としての資質・能力を高める。

## 保護者・地域の願い

- 子どもが楽しく学校に通ってほしい。
- 子どもの学力を定着させてほしい。
- 思いやりのある子どもに育ててほしい。

**【学校教育目標】**  
みなみの子 かしく やさしく たくましく

**【めざす児童像】**  
・自ら学び、創意工夫する子ども  
・やさしく、思いやりがある子ども  
・たくましく、がんばりぬく子ども

**【めざす学校像】**  
・子ども一人ひとりのよさが輝く学校  
・地域に信頼され、地域の誇りとなる学校  
・安心・安全できれいな学校

## 前年度の学校評価

- 地域との連携がよくできている。
- 学校行事が充実している。
- 子どもの健康・安全についての取り組みができている。

## 児童の実態

- 元気にあいさつができる。
- 素直で子どもらしく明朗さがある。
- 何事にも真面目に取り組む。
- 大人への依存度がやや高い。

重点目標

**確かな学力の向上**

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎複式授業の充実
- 読書活動の推進
- 聞く力、伝える力の向上

**豊かな心の育成**

- ◎学級経営の充実
- ◎道徳教育の充実と人権意識の向上
- 特別支援教育の充実

**健やかな体の育成**

- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎健康教育・安全教育の充実
- 運動習慣の定着と体力向上

**地域にとともにある学校**

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎中学校区における学校間連携の推進(小・中、小・小)
- 地域人材の招聘

具体的な取組

- ・「少人数・複式学級のよさを生かした授業づくり」をテーマに全教員研究授業を行う。
- ・「家庭学習の手引き」を参考に家庭学習の充実に取り組む。
- ・ICT機器・デジタル教科書の効果的な活用によって学習効果が高まる指導を目指す。(遠隔授業を含む)
- ・読書活動をさらに充実させる。
- ・集会等で、発表や質問の場を設ける。(スピーチ活動等)

- ・自己有用感を育む指導を行う。
- ・多様で効果的な道徳教育の指導方法を追求する。
- ・異学年交流活動の充実を図る。
- ・QUアンケート、いじめアンケート(年3回)を実施し、いじめ未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- ・児童理解について随時、情報交換を行い、研修を実施する。
- ・特別支援教育の専門性向上のための研修を実施する。

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」を奨励する。
- ・感染症や病気を理解し、自ら予防する力を育てる。
- ・健康教育・安全教育を推進する。
- ・防災学習(防災キャンプ、避難訓練、防災検定等)に取り組む。
- ・系統的に全校で体力向上に取り組む。(外遊び、全校遊び、水泳、マラソン、駅伝、体育授業の工夫等)

- ・学校運営協議会を円滑に運用する。
- ・小中合同のビブリオバトルや英語発表会を行う。
- ・近隣小学校との交流学習等を積極的に実施する。(ICT活用を含む)
- ・地域の方々を外部講師として招く。(読み聞かせ、クラブ時の講師など)
- ・小・中学校間の情報交換や相互の授業参観を行う。
- ・学校開放、学校便り、HP等で学校の様子を発信する。

指標

- ・授業内容がよくわかる。理由を挙げて意見を適切に述べることができる。(ともに児童80%以上)
- ・ICTの効果的活用による授業力が向上した。(教師100%)

- ・学校生活が楽しいと思える。
- ・人の役に立つことができた。(ともに児童90%以上)
- ・自分から元気にあいさつする。(児童100%)

- ・早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身につけた。(児童100%)
- ・健康や安全、防災に関する知識や習慣が身についた。(児童90%以上)

- ・教育活動等の広報・公開についての評価が肯定的である。(保護者80%)
- ・小・小や小・中の連携した授業や行事を10回以上行う。

◎：特に重点的に取り組むこと